

令和8年度 近畿大学大学院産業理工学研究科 博士前期課程
社会環境科学コース 9月入試 入試問題(英語：環境計画・造形計画)

次頁以降の問題に対し、別紙解答用紙に解答しなさい。

※問題用紙と解答用紙を切り離してもよいが、両方とも氏名を記入し提出すること。

※解答用紙のスペースが不足した場合、4枚目の解答用紙の裏へ続きを記入すること。

下記の英文を読み、以下の問に答えよ。

出典:Fumihiko Maki, "INVESTIGATION IN COLLECTIVE FORM"

(著作権上の問題により、本文の掲載不可)

[Redacted text block containing multiple paragraphs and numbered items (1) through (4). Item (4) includes a sub-item (A) which is underlined. There is another underlined sub-item (B) further down the text.]

[問題 1] 下線部 (A) を日本語に訳せ。

[問題 2] 下線部 (B) について、以下の問いに答えよ。

- (1) “unit” と “basic structure” が指している語句を本文中から英語のまま抽出せよ。
- (2) 下線部 (B) の “unit” は、その建築的部分の多様性が、集合としての性格を変えることはないものとして扱われている。本文で例示されている “unit” の多様性に対応する建築的部分を 3 つ、本文から抜き出し、日本語で記せ。

【問題 1】 下線部 (A) を日本語に訳せ。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school writing paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

【問題 1】 つづき

[illegible]

[問題 2] 下線部 (B) について、以下の問いに答えよ。

(1) “unit” と “basic structure” が指している語句を本文中から英語のまま抽出せよ。

.....unit.....:

.....basic structure.....:

(2) 下線部 (B) の “unit” は、その建築的部分の多様性が、集合としての性格を変える
ことはないものとして扱われている。本文で例示されている “unit” の多様性に対応
する建築的部分を 3 つ、本文から抜き出し、日本語で記せ。

.....①.....

.....②.....

.....③.....

令和 8 年度 9 月募集 学内・一般専攻 社会環境科学コース 環境・造形計画
英語 解答例

[問題 1]

これらの街の空間構成にみられる特徴としては、

1. 一貫して使用される基礎的な材料と工法と同時に、自発的であるがマイナーな表現の相違。
2. 賢明で時としてドラマチックな地形や地勢の利用
3. 街を支配するヒューマンスケール。(これはしばしば超人間的地形と対比される。)
4. 最後に、住宅、住宅の間の空間、壁、門、塔、水などの繰り返し使用される目に見える要素などの基本的要素により構成されたシーケンス

[問題 2]

1. Unit : house

basic structure : system, spatial organization, village form

(2) ①ユニットの奥行

②ユニットの立面 (正面)

③中庭の規模

④納屋の規模

出題意図：

1. 1960年代に槇文彦氏が世界へ向けて発信した「GROUP FORM」の概念の理解度の確認
2. 建築に関わる英語力の確認
3. 長文読解力の確認